



息長小学校だより

息長っ子

自分大好き 友だち大好き 学校大好き ゐるさと大好き!!



令和8年6月19日 第3号

文責 川崎

<https://okisyo@city-maibara.ed.jp>



『校長先生の髪の毛、ピンク色?!』 そのひと言から…

梅雨の合間に、夏の気配を感じる日が増えてまいりました。校庭や畑では、子どもたちが育てている花や夏野菜も少しずつ大きくなり、日々の成長を楽しみに見守っています。

そんなある朝、ピーマンに小さな実がなっているのを見つけた子どもたちが、うれしそうに教えてくれました。「よかったね」と声をかけると、「大きくなったら校長先生にもあげるね。」と、にこにこ話してくれました。

また別の晴れた日には、そばに来た子が、ふと、「校長先生の髪の毛、ピンク色!？」と不思議そうに見つめます。「実は、白い髪があって、目立たないように色をつけているのだけれど、今は少し色が落ちて、光の加減でそう見えるのかもしれないね。」と答えると、「でも、先生の髪の毛、きれいだよ」と言ってくれました。さらに近くにいた子どもたちも「きれいだね。」と口々に続きます。

その言葉のやり取りに、思わず心があたたかくなりました。何気ない一言が、人の心を明るくし、その優しさが周りへと広がっていく—— そんな瞬間に立ち会えたことを、とても嬉しく感じました。

これからも、子どもたちの間で、このようなあたたかくてやさしさあふれる言葉のやり取りがたくさん生まれていくことを、心から願っています。

今年も、花菖蒲の花束をお届けいただきました。

ありがとうございました。

可憐に咲く花に、今年もこの季節の訪れを感じます。

毎年このように心のこもったお心遣いをいただき、学校のことを気にかけてくださっていることを、たいへんありがたく思っております。



行事予定

※変更になる場合があります。ご了承ください。

6/22(月) 学びっこ 4年リサイクル学習(クリスタルプラザ・浄水場)

23(火) 6年心理授業 まいばら読書の日

25(木) 先生の読み聞かせタイム

5年南極大陸オンライン学習

26(金) 2年食に関する授業

29(月) 委員会活動 学びっこ(最終)

7/1(水) 口座振替日

2(木) 朝の読み聞かせ

3(金) 同窓会役員会

7(火) SC 来校日

8(水) 6年演劇の子 安全に係る情報交換会

13(月) 個別懇談会 5校時集団下校

14(火) 個別懇談会 給食後集団下校

15(水) 個別懇談会 給食後集団下校

16(木) 個別懇談会 給食後集団下校

朝の読み聞かせ 給食終了

17(金) 1学期終業式

20(月) 海の日

21(火) 夏季休業(~8/31)

23(木) まいばら読書の日

8/10(月)~8/16(日) 学校閉庁日



令和8年度 息長小すもう大会 ～土俵で輝いた子どもたち～



5月29日にすもう大会を行いました。大会当日は、保護者・地域の皆様の温かい応援と見守りの中、会場は大きな声援に包まれ、熱気あふれる大盛況の大会となりました。

大会までには、すべての子どもたちが順調に準備を進められたわけではありません。不安や悔しさ、緊張を感じる場面もあったことと思います。中には、試合前に思いがあふれて涙を見せる子もいました。しかし、それぞれがその気持ちを乗り越え、土俵に立ち、最後まで全力で戦う姿が見られました。全身で相手にぶつかっていくその姿は、たくましく、また勇敢でもありました。そして、友だちを一生懸命応援する姿など、多くの場面で子どもたちのよさが見られました。

また土俵に上がる前には、静かに気持ちを整え、相手と向き合う姿が見られました。そこには、自分の力を信じようとする気持ちと、相手を大切に思う心が感じられ、相撲の大切な精神が表れていました。取組が終わった後、勝っても負けても自分のがんばりを認め、さらに友だちのよさにも目を向け、互いに認め合う姿が多く見られたことも、たいへんうれしく思いました。この大会を通して、子どもたちは技術だけでなく、心の成長も感じさせてくれました。これからの学校生活の中でも、今回の学びを大切にしていってほしいと思います。



すもう大会を終えて ～子どもたちのふりかえりより～

◆練習では四股ふみ、対戦、応援をがんばりました。本番では負けたけど、力を出し切れて良かったです。

◆もうちょっとで勝てそうだったけど、負けてくしかったです。

◆すもう大会でできるようになったことは、『真剣に取り組む』ということです。横綱決定戦や学年ずもうでみんな一生懸命、真剣に全力で取り組んでいたの、すもうにはそういったことが学べるスポーツだということを改めて実感しました。相撲で学んだことを活かして、何事にも真剣に取り組みたいです。

◆負けてしまったけれど、横綱決定戦に出られたので悔いはないと思いました。100パーセントやり切れたので良かったです。家族もほめてくれたのでうれしかったです。ここまでやってよかったなと思いました。

◆来年は、礼儀正しく、そして横綱になりたいです。

